



平成 25 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
 代表者名 代表取締役社長 安野 清
 (コード番号 9997 東証第 1 部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 松田 智博
 (TEL. 048-771-7753)

第二次短期経営計画（2014 年 3 月期～2016 年 3 月期）の策定について

当社は、2016 年 3 月期までの第二次短期経営計画（2014 年 3 月期～2016 年 3 月期）を策定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 短期経営計画における基本方針
 — “通信販売総合商社” の熟成—
 - (1) ポートフォリオ経営の強化
 - (2) 新たな事業の成長促進
 - (3) 通販インフラの整備
 - (4) 株主還元の見直し

2. 目標数値

(単位：億円)

連結	13/3 期	14/3 期		15/3 期		16/3 期	
	実績	予算	前年比	予算	前年比	予算	前年比
売上高	1,178.8	1,300.0	+10.3%	1,400.0	+7.7%	1,600.0	+14.3%
営業利益	70.8	95.0	+34.2%	105.0	+10.5%	120.0	+14.3%
(営業利益率)	6.0%	7.3%	+1.3P	7.5%	+0.2P	7.5%	+0.0P
有利子負債	132.4	180.0	+36.0%	150～200	-17～+11%	150～250	±0～25%
純資産	666.1	720.0	+8.1%	770.0	+6.9%	830.0	+7.8%
ROE (%)	9.2%	9.3%	+0.1P	8.5～9.5%(-0.8～+0.2P)			

(添付資料) ベルーナグループ 第二次短期経営計画： 1 部

以 上

ベルーナグループ 第二次短期経営計画



▲ミセスファッション店
「BELLUNA」



▲基幹カタログ
「ベルーナ」



▲ベルーナネットショップ
<http://belluna.jp>



▲スマートフォンサイト

ベルーナ

2013年5月31日(金)

目次

1. 経営環境の変化と新たな課題
2. 経営基本方針
3. 主要経営指標
4. 経営基本方針に基づく取り組み

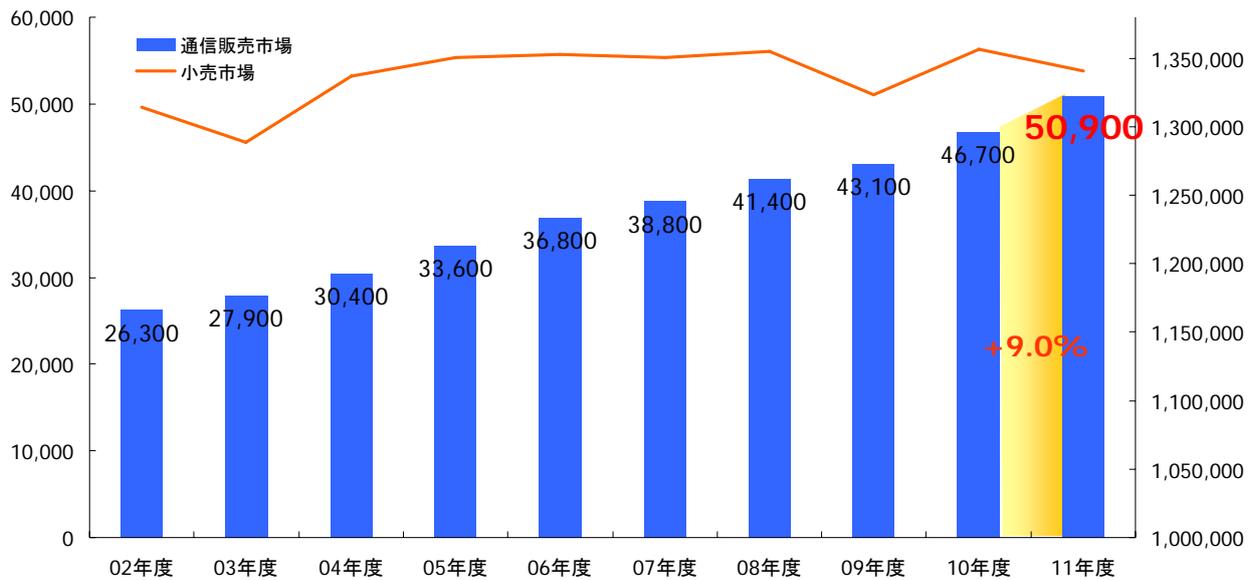
BELLUNA

1. 経営環境の変化と新たな課題

BELLUNA

(単位: 億円)

(1) 通販市場の動向



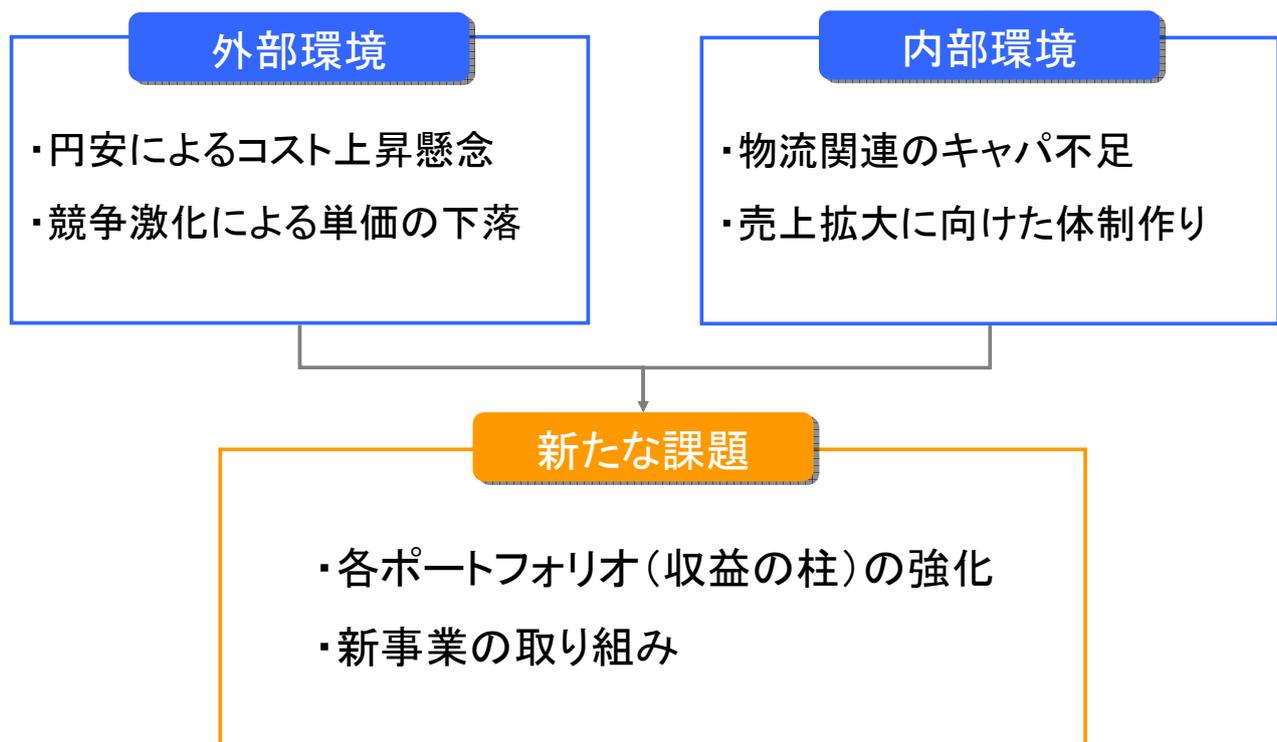
※日本通信販売協会「2011年度通販市場売上高調査」/経済産業省「商業販売統計年報」を元に作成

小売市場が一進一退を繰り返している中、通信販売市場は年々拡大傾向を続け、11年度は前年比9.0%増と5兆円の大台を突破。
媒体別では、インターネットとモバイル通販の成長が著しい。

1. 経営環境の変化と新たな課題

BELLUNA

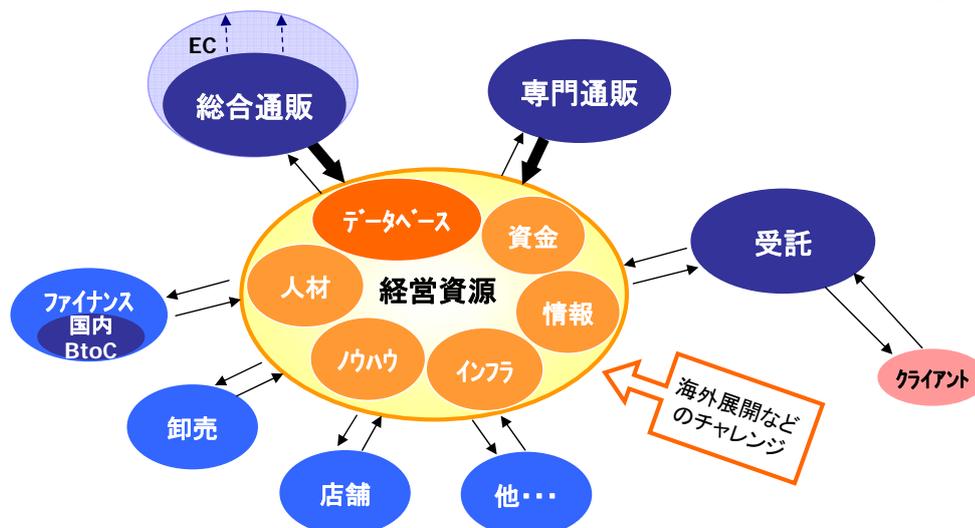
(2) 経営環境の変化と新たな課題



2. 経営基本方針

BELLUNA

▼ データベースを核としたビジネス展開の発展型「通販総合商社」



複数事業のシナジー効果で、高い成長性と収益性の実現を目指すビジネスモデル

- ① 総合通販で培った「顧客データベース」を活用し、
専門通販・受託などの【データベース関連事業】で安定した収益基盤を作る
- ② 更に、卸売や店舗などの【新たな事業】群でプラスαの収益を生む
- ③ 海外展開などのチャレンジも戦略的に行い、次なる成長の芽を育てる

4

2. 経営基本方針

BELLUNA

▼ 経営基本方針

“通信販売総合商社”の熟成

1. ポートフォリオ経営の強化
2. 新たな事業の成長促進
3. 通販インフラの整備
4. 株主還元の見直し

5

3. 主要経営指標

BELLUNA
(単位:億円)

▼ (1) 全体

連結	13/3期	14/3期		15/3期		16/3期	
	実績	予算	前年比	予算	前年比	予算	前年比
売上高	1,178.8	1,300.0	+10.3%	1,400.0	+7.7%	1,600.0	+14.3%
営業利益	70.8	95.0	+34.2%	105.0	+10.5%	120.0	+14.3%
(営業利益率)	6.0%	7.3%	+1.3P	7.5%	+0.2P	7.5%	+0.0P
有利子負債	132.4	180.0	+36.0%	150~200	-17~+11%	150~250	±0~25%
純資産	666.1	720.0	+8.1%	770.0	+6.9%	830.0	+7.8%
ROE	9.2%	9.3%	+0.1P	8.5~9.5%(-0.8~+0.2P)			

6

3. 主要経営指標

BELLUNA
(単位:億円)

▼ (2) セグメント別

		13/3期	14/3期	15/3期	16/3期
		実績	予算	予算	予算
総合通販	売上高	780.1	817.0	879.0	950.0
	営業利益	25.4	28.5	38.0	43.0
専門通販	売上高	235.4	258.2	284.3	318.0
	営業利益	18.7	19.6	24.0	26.1
店舗	売上高	50.0	65.8	95.0	141.0
	営業利益	3.6	3.0	3.0	7.0
ソリューション	売上高	38.4	41.5	46.5	52.0
	営業利益	16.3	17.8	19.0	19.3
ファイナンス	売上高	31.3	34.0	36.8	39.4
	営業利益	-0.2	10.5	14.1	15.7
プロパティ	売上高	16.9	50.0	10.0	10.0
	営業利益	5.1	13.0	4.3	4.4
その他	売上高	31.1	38.0	52.0	94.0
	営業利益	0.4	1.6	3.5	5.7
連結消去	売上高	-4.3	-4.5	-3.6	-4.4
	営業利益	1.4	1.0	-0.9	-1.2
計	売上高	1,178.8	1,300.0	1,400.0	1,600.0
	営業利益	70.8	95.0	105.0	120.0

7

4. 経営基本方針に基づく取り組み

BELLUNA

▼ (1) 基本方針1 ポートフォリオ経営の強化

■ 総合通販事業 ～収益と成長のバランス

- ・収益性の高いミセス層に重点
- ・若年層は収益性向上と新規顧客の獲得に注力

■ 専門通販事業 ～利益を確保しながら成長に重点

- ・グルメ事業……収益性の高いワイン事業をさらに伸ばす
- ・健食・化粧品……利益額を維持しながら、成長性を追求

■ ソリューション事業 ～収益強化と成長の実現

- ・封入同梱サービス……収益性を確保しながら新規顧客を獲得
- ・通販代行サービス……収益力強化と受入拡大による受注増

8

4. 経営基本方針に基づく取り組み

BELLUNA

▼ (2) 基本方針2 新たな事業の成長促進

① 店舗販売事業の拡大

- ・アパレル……今期中に20店舗出店予定
2013/3末 10店舗 → 2014/3末(予) 30店舗
 - ・和装……今期中に8店舗出店／3店舗退店予定
2013/3末 48店舗 → 2014/3末(予) 53店舗
- ※来期以後は業績や経営環境を踏まえて出店



BELLUNA 守谷店

② 海外事業展開の促進

- ・中国を中心としたアジアへのワイン卸販売の拡大



上海のワインバー

9

4. 経営基本方針に基づく取り組み

BELLUNA

▼ (3) 基本方針3 通販インフラの整備

吉見物流センターの新設（投資総額約130億円）

2014年8月から本格稼働

- ・ローコストオペレーション ～作業効率約1.3倍に
- ・サービスの向上 ～当日出荷が可能に



10

4. 経営基本方針に基づく取り組み

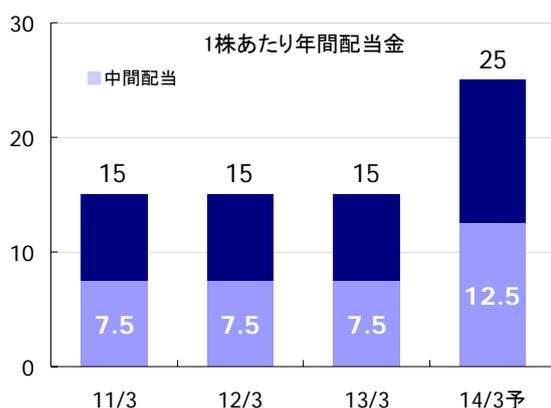
BELLUNA

▼ (4) 基本方針4 株主還元の見直し

配当の見直し

今期は10円増配する。

(現行)年間 15円 → (14年3月期) 年間 25円



→ 来期以後については、安定配当の維持、業績、今後の事業展開等を総合的に勘案して決定する。

11